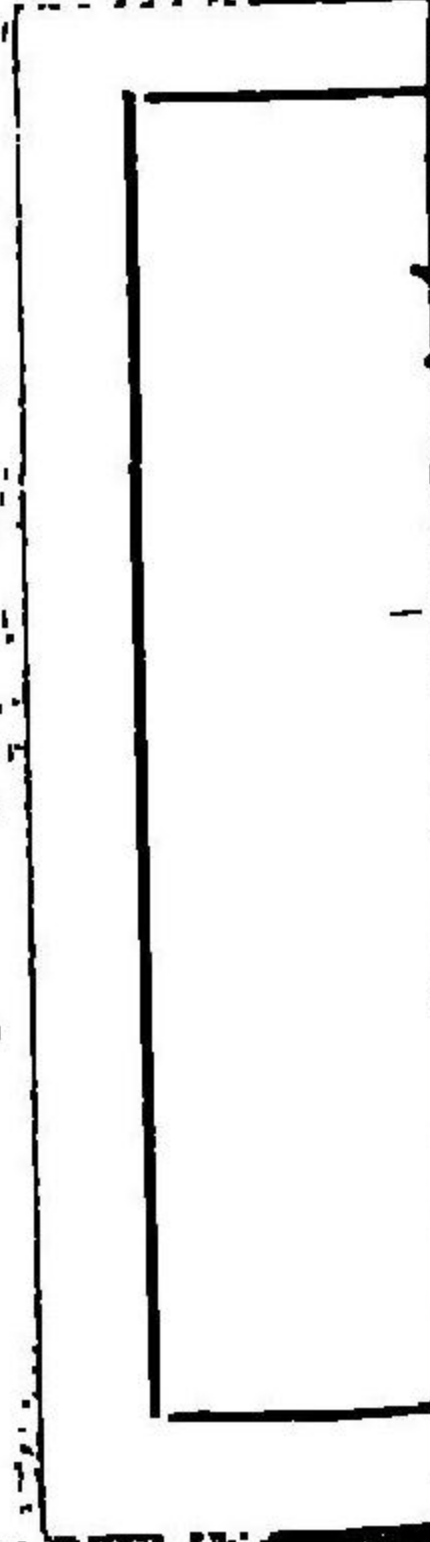
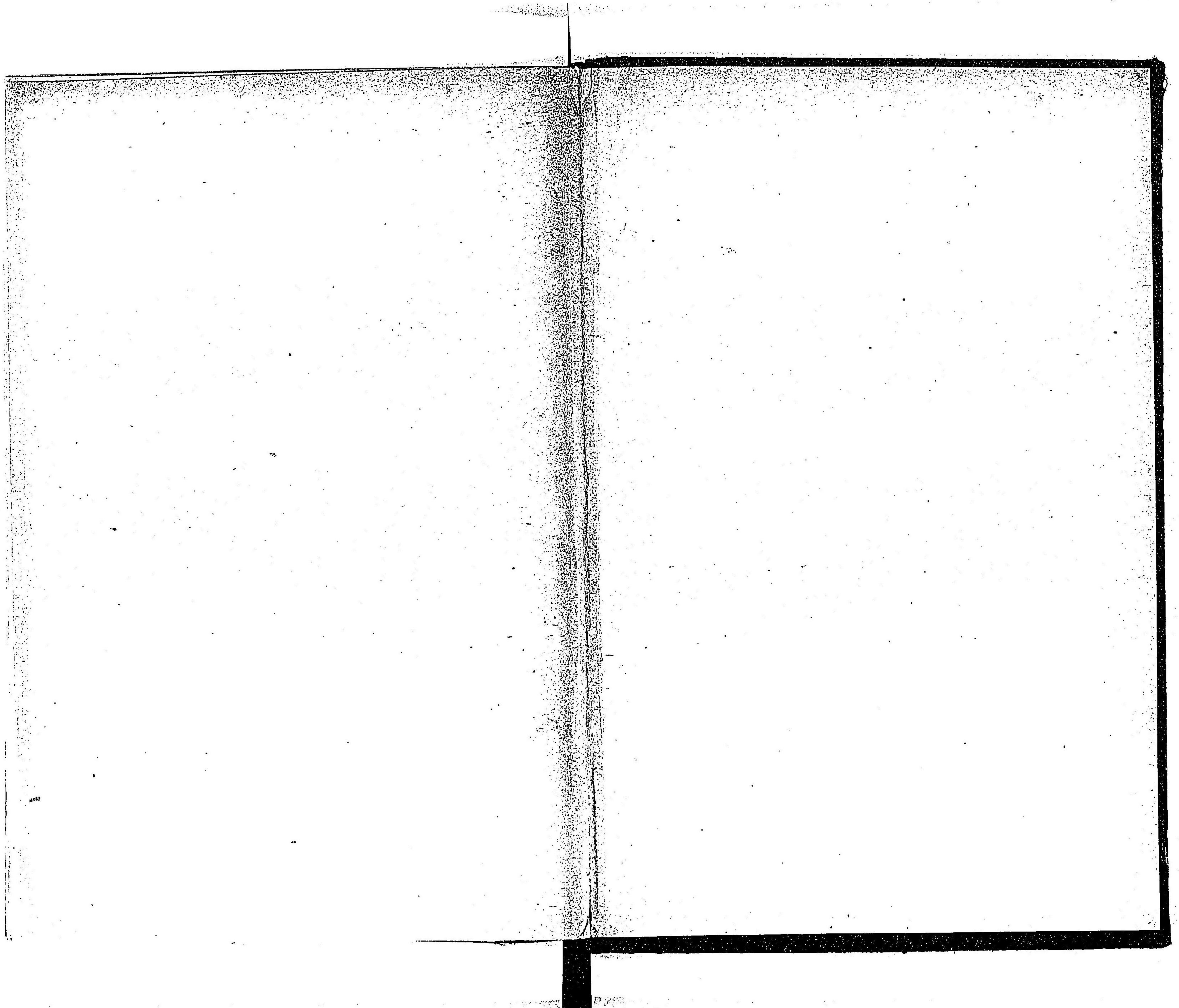


97  
392

明治四十一年

帝國學士院一覽





帝國學士院一覽

第九	客員	二六頁
第八	會員	二一頁
第七	職員	二〇頁
第六	帝國學士院紀事出版ニ關スル第二部決議	一八頁
第五	學術研究費補助ニ關スル決議	一七頁
第四	出版ニ關スル決議	一六頁
第三	帝國學士院會則	一〇頁
第二	帝國學士院規程	四頁
第一	沿革畧	一頁



帝國學士院

帝國學士院一覽

第一 沿革略

帝國學士院ハ素ト東京學士會院ト稱セリ今其起原ヲ畧叙スレハ明治十一年十二月文部卿西郷從道當時文部省雇顧問タリシ米人モルレ一氏ノ建議ニ由リ學士會院ヲ設クルノ必要ナルヲ認メ乃チ東京學士會院規則大意及選舉案ヲ西周加藤弘之神田孝平津田真道中村正直福澤諭吉箕作秋坪ノ七名ニ諮詢シテ其協賛ヲ得以テ之ヲ創設スルニ至レリ

同十二年一月文部大輔田中不二麿(文部卿 缺員)右西周以下ノ七名ヲ東京學士會院ノ會員ニ選舉シ其報帖ヲ交付ス同年四月東京學士會院規則ヲ定ム其要項ハ教育ノ事ヲ討議シ學術技藝ヲ評論スルヲ以テ主トシ會員ハ四十名ヲ限リ東京學士會院ニ於テ選舉シ文部卿ノ認可ヲ經ルノ

制ナリ同年五月東京學士會院雜誌ヲ發行ス

同十八年二月文部卿大木喬任東京學士會院組織大綱ヲ示ス其要旨ハ學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ圖ルニ在リ會員ハ帝室ノ御選ニ出ル者十五名會員ノ推選ニ出ル者二十五名ヲ以テ組織スル等ナリ同年四月舊規則ヲ廢シ更ニ右大綱ニ基キ會則ヲ定メ同年九月ヨリ實施ス

同二十三年十月勅令第二百六十四號ヲ以テ東京學士會院規程ヲ發布セラレ同年十二月文部大臣ノ認可ヲ經テ會則ヲ定ム

同二十八年三月勅令第十七號ヲ以テ東京學士會院規程補則ヲ發布セラレ

同三十四年六月定期刊行ノ東京學士會院雜誌ヲ廢シ同年七月ヨリ東洋學藝社ト契約シ毎月講演ノ論說及記事等ハ同雜誌ニ掲載スルコト

、セリ

同三十九年六月勅令第四百四十九號ヲ以テ帝國學士院規程ヲ發布セラ

レ同年七月文部大臣ノ認可ヲ經テ會則ヲ定ム

同年十二月文部大臣ノ認可ヲ經テ會則ヲ改正ス

同四十年七月出版ニ關スル決議及學術研究費補助ニ關スル決議ヲ議定ス

同年十一月文部大臣ノ認可ヲ經テ會則ヲ追加ス

同年同月出版ニ關スル決議ヲ修正ス

同年十二月帝國學士院紀事出版ニ關スル第二部決議ヲ議定ス



## 第二 帝國學士院規程

勅令第四百十九號 (明治三十九年六月十二日)

### 帝國學士院規程

- 第一條 帝國學士院ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ學術ノ發達ヲ圖リ教化ヲ裨補スルヲ以テ目的トス
- 第二條 帝國學士院會員ハ帝國學士院ニ於テ碩學中ヨリ推選シ勅旨ヲ以テ之ヲ命ス
- 第三條 外國人ニシテ帝國ニ於ケル學術ノ發達ニ關シ特別ノ功勞アル者ハ帝國學士院ニ於テ之ヲ客員ト爲スコトヲ得
- 第四條 帝國學士院ハ左ノ二部ニ分チ會員ハ各專攻ノ學科ニ依リテ之ニ分屬ス

### 第一部 文學及社會的諸學科

### 第二部 理學及其ノ應用諸學科

- 第五條 帝國學士院會員ノ定員ハ六十人トス
- 第六條 帝國學士院ハ會議ヲ開キ學術及教化ニ關スル事項ヲ審議スル會議ハ總會及部會トス
- 第七條 帝國學士院會員ハ專攻ノ學科ニ付論文ヲ提出シ又ハ報告ヲ爲スモノトス
- 第八條 帝國學士院ハ學術ニ關スル論文、考案、資料等ヲ募集スルコトヲ得
- 第九條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ外國ニ於ケル學術上ノ團體ト共同シテ研究ヲ爲シ又ハ其會員トナルコトヲ得
- 第十條 文部大臣ハ學術及教化ニ關スル事項ニ付帝國學士院ニ諮詢スルコトヲ得

第十一條 帝國學士院ハ少クトモ毎年一回院務ニ關スル報告書ヲ文部大臣ニ提出スヘシ

第十二條 帝國學士院ニ院長一人幹事一人及部長二人ヲ置ク

院長及幹事ハ總會ニ於テ部長ハ部會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ互選シ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

院長幹事及部長ノ任期ハ三年トス

第十三條 院長ハ院務ヲ總理シ總會ニ於テ其ノ議長ト爲ル院長事故アルトキハ幹事其ノ職務ヲ代理ス

幹事ハ院長ノ指揮ヲ受ケ院務ヲ掌理ス

第十四條 部長ハ院長ノ指揮ヲ受ケ部務ヲ掌理シ部會ニ於テ其ノ議長ト爲ル

第十五條 滿六十歳以上ノ會員ニハ特ニ年金ヲ給スルコトヲ得

第十六條 帝國學士院ニ書記四人ヲ置キ文部省所屬ノ判任官ヲ以テ之ニ充ツ

書記ハ院長幹事及部長ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

第十七條 學術上ノ調査ノ爲會員中ニ於テ擔當者ヲ定メタルトキハ手當ヲ給スルコトヲ得

第十八條 帝國學士院ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ會則ヲ定ムルコトヲ得

附則

第十九條 東京學士會院規程及東京學士會院規程補則ハ之ヲ廢止ス

第二十條 本令施行ノ際東京學士會院會員及客員タル者ハ本令ノ規定ニ依リ帝國學士院會員及客員タル者トス

第二十一條 東京學士會院規程第五條ニ依リテ年金ヲ受クル者ハ本令施行ノ後仍同額ノ年金ヲ受ク

第二十二條 本令ノ規定ニ依リ帝國學士院長ノ就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會院會長ニ於テ幹事及部長ノ就任スルニ至ル迄ハ元東京學士會院幹事ニ於テ其ノ職務ヲ行フヘシ

(參照)

勅令第二百六十四號(明治二十三年十月二十五日官報)

東京學士會院規程

第一條 東京學士會院ハ學藝ノ品位ヲ高クシ以テ教化ノ裨補ヲ謀ランカ爲ニ設クル所ニシテ文部大臣ノ管轄ニ屬ス

第二條 東京學士會院ハ若德碩學ノ中ヨリ選出セラレタル會員ヲ以テ組織ス其選出ノ方法及人員左ノ如シ

- 一 帝室ノ特選ニ依ル會員十五名
  - 一 會員ノ推選ニ依ル會員二十五名
- 會員ノ推選ニ依ルモノハ文部大臣ノ認可ヲ經ルヲ要ス

會員ハ終身トス

第三條 東京學士會院會員ハ各自專攻ノ學科ニ就キ論說ヲ述ヘ又學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ報告スルモノトス

第四條 東京學士會院ハ學藝及教化ニ關スル事項ニ就キ文部大臣ヨリ諮問アルトキハ審議復申スルモノトス又會員各自意見アルトキハ會院ニ於テ審議シ文部大臣ニ開陳スルコトヲ得

第五條 東京學士會院會員滿六十歳以上ノ者十名以内ヲ限リ特ニ各年金三百圓ヲ賜フコトアルヘシ

第六條 東京學士會院ニ會長一人幹事二人ヲ置ク

會長幹事ハ會員ノ互選ヲ以テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム其任期ハ各一年トス但再選セラレ、コトヲ得第七條 會長ハ文部大臣ノ監督ヲ受ケ院務ヲ統理シ議事アルトキハ議長ノ任ニ當ルモノトス會長事故アルトキハ幹事ノ内一人ヲ指定シテ其職務ヲ代理セシム

幹事ハ會長ヲ補佐シテ院務ヲ掌理ス

第八條 削除(二十六年勅令第五十九號ヲ以テ削除)

第九條 東京學士會院ニ書記二人ヲ置キ文部屬ヲ以テ之ニ兼補ス書記ハ會長及幹事ニ屬シテ庶務ニ從事ス

第十條 東京學士會院ハ文部大臣ノ許可ヲ得テ會則ヲ設クルコトヲ得

勅令第十七號(明治二十八年三月八日官報)





外國ノ普徳碩學ニシテ特ニ帝國ニ對シ功勞アル者ハ會員ノ推選ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ客員ト爲スコトヲ得

### 第三 帝國學士院會則

(明治三十九年七月一日議決同年同月四日文部大臣認可  
同年十二月十二日改正議決同年同月十九日文部大臣認可  
同四十年十一月十二日追加議決同年同月廿二日文部大臣認可)

第一條 帝國學士院會員ノ定員ハ各部三十人トス

第二條 會員ヲ推選セントスルトキハ當該部會ニ於テ投票ヲ以テ先ツ候補者ヲ豫選シ其ノ最多數ヲ得タル者三人ヲ以テ候補者トス  
候補者ニ缺員ヲ生シタル場合ニ於テハ補缺豫選ヲ行フ  
候補者ニ付キ當該部會ニ於テ決選投票ヲ行ヒ部會員三分二以上ノ多數ヲ得タル者ヲ當選者トシ總會ノ認可ヲ經テ之ヲ會員ニ推選ス

前項ノ多數ヲ得タル者ナキトキハ更ニ決選投票ヲ行ヒ尙ホ當選者ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テハ候補者ノ改選ヲ行フ

第三條 候補者ノ豫選及會員ノ推選ハ少クトモ三週間以前院長ヨリ之ヲ各會員ニ通知ス

第四條 客員ヲ推舉セントスル者ハ當該部會員五人以上ノ賛成ヲ得テ部會ニ發議スルコトヲ得

客員ノ選定ニ關シテハ第二條第三項及第三條ノ規定ヲ準用ス

第五條 院長幹事及部長ノ選舉ハ最多數ノ投票ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

院長幹事及部長ハ六月ニ之ヲ選舉シ七月ニ至テ就任ス

第六條 投票ハ總テ無記名トス  
病氣其ノ他ノ事故ニ依リ出席スルコト能ハサル者ハ封書ヲ以テ投

票スルコトヲ得

第七條 第二條第一項及第五條第一項ノ場合ニ於テ投票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選者トス

第八條 總會ハ院長部會ハ部長之ヲ召集ス

通常總會ハ毎月一回之ヲ開ク但シ八九兩月ハ開會セズ

院長ノ見込ニ依リ又ハ會員五人以上ノ請求アルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第九條 總會及部會ハ在東京會員ノ三分之一以上ニ相當スル出席員アルニアラサレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス  
議決ハ出席員ノ過半數ニ依ル

第十條 總會及部會ノ議長ハ議決ノ數ニ加ラス但シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第十一條 帝國學士院規程第七條ノ論文ノ提出及報告ハ總會又ハ部會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

帝國學士院會員ニ非サル者ノ論文又ハ報告ハ會員之ヲ紹介シテ總會又ハ部會ニ提出スルコトヲ得

論文及報告ハ之ヲ印刷シテ學者、學會、學校等ニ配付スルコトアルヘシ

論文及報告ノ會議ハ傍聽ヲ許スコトアルヘシ

第十二條 總會又ハ部會ノ議決ニ依リ講演ヲ公開スルコトアルヘシ  
第十三條 部ハ總會ノ認可ヲ得テ部則ヲ定ムルコトヲ得

第十四條 部會ノ開會及議決ハ部長ヨリ之ヲ院長ニ報告スヘシ

第十五條 院長ハ毎年一回總會ニ於テ前一年間ノ院務ノ要項ヲ會員ニ報告スヘシ

部長ハ毎年一回前一年間ノ部務ノ要項ヲ院長ニ報告スヘシ  
第十六條 部長事故アルトキハ會員ノ一人ニ其ノ職務ヲ委託スルコトヲ得

附則

第十七條 各部ニ於ケル會員ノ數二十五人ニ充ツルマテハ第二條及第三條ノ規定ニ依ラス總會ニ於テ會員ニ推選スヘキ者ヲ選定ス  
第十八條 院長幹事及部長ノ初回ノ選舉ハ明治三十九年七月ニ之ヲ行フ

(參照)

東京學士會院會則(明治二十三年十一月九日議決  
同年同月廿六日文部大臣認可)

- 第一條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ投票ヲ以テス投票同數ナレハ年長ヲ取ル
- 第二條 會長幹事ハ毎年十二月ニ於テ改選シ翌年一月ヨリ就職スルモノトス
- 第三條 會長幹事ハ發案討論投票ヲ爲スコト都テ會員ニ同シ

會長幹事議長ノ任ニ當ルトキハ可否ノ數ニ加ハラス但可否同數ノ場合ニ於テハ議長之ヲ決ス

第四條 會長幹事ノ選舉並ニ會員ノ推選ハ在京會員ノ投票ヲ以テス但缺席者モ之ニ加ハルモノトス

第五條 會員ノ推選ハ先ツ在京會員ニテ投票シ其投票最多數ノ三名ヲ取テ再ヒ投票シ最多數ヲ得タル者一人ヲ以テ當選者ト定ム但最多數ト雖投票數五點以下ナルトキハ之ヲ棄却シ更ニ改選ヲ爲ス

第六條 會員中右三名共ニ不適任ト認ムルカ若クハ其學力人物等ヲ開知セサルトキハ投票ヲ辭スルコトヲ得

第七條 投票ヲ辭シタル會員ノ數在京會員ノ三分一以上ニ登ルトキハ選舉ヲ行ハス更ニ改選ヲ爲ス

第八條 當選者會員タルコトヲ辭スル者アルトキハ更ニ改選ヲ爲ス

第九條 議事ノ可否ヲ決スルハ多數ニ依ル但在京會員二分一以上出席セサルトキハ可否ヲ決セス

第十條 會日ニハ講筵ヲ開キ公眾ノ參聽ヲ許スコトアルヘシ

第十一條 毎年一月ノ會日ニ於テ前會長前年ノ院務ノ要項ヲ報告ス

第十二條 會員ノ坐順變換ハ年二期(二月、七月)トシ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但新任者ハ該一期間未坐トス

第十三條 通常毎月(八九兩月ヲ除ク)第二日曜日ヲ以テ會日ト定ム但事宜ニヨリ會日ヲ變更シ或ハ臨時會ヲ開クコトアルヘシ

第十四條 演述ノ筆記並ニ院務ノ要項等ハ時々之ヲ刊行シテ會員ニ頒テ併セテ世ニ公ニス



### 第四 出版ニ關スル決議

(明治四十年七月十二日總會議決  
同年十一月十二日總會修正議決)

- 一、毎年一回年報ヲ刊行シテ院務ノ報告ヲ登載スヘシ
- 二、帝國學士院規程第七條、第八條及帝國學士院會則第十一條第二項、第十二條ニ依ル論文、報告、講演等ハ帝國學士院紀事又ハ別冊トシテ之ヲ刊行スルコトヲ得
- 三、圖書又ハ論文ヲ編纂、校訂、翻譯若クハ謄寫セシメ又ハ之ヲ出版スルコトヲ得
- 四、第二項ニ掲ケタル論文、報告及講演ノ原稿若クハ速記ハ院長ノ許可ヲ經ルニ非ラサレハ帝國學士院紀事ニ先チテ之ヲ他ニ掲載スルコトヲ得ス



### 第五 學術研究費補助ニ關スル決議

(明治四十年七月十二日總會議決)

- 一、會員ニシテ學術研究費ノ補助ヲ要スルコトアルトキハ研究ノ目的ヲ明記シ之ニ要スル概算費目ヲ三月末日マテニ部長ニ申出ツヘシ  
數人共同ノ研究ニ係ルトキハ主任者一名ヲ指定スルコトヲ要ス
- 二、部長ハ委員若干名ヲ指名シテ前項ノ申出ヲ審査セシムヘシ  
部長ハ審査委員會ヲ召集シ其議長ト爲ル
- 三、審査委員會ノ決議ハ四月末日マテニ部長之ヲ院長ニ報告スヘシ
- 四、學術研究費各補助額ハ院長、幹事及部長ノ役員會議ニ於テ案ヲ定メ五月ノ總會ニ之ヲ提出スヘシ但緊急ノ場合ニ於テハ院長ハ前二項ノ手續ニ依ラス部長ノ申請ニ因リ役員會議ニ於テ決定シ次回ノ總會ニ於テ之ヲ報告スヘシ
- 五、學術研究費ノ補助ヲ受ケタル者ハ研究結了後直ニ其成績ヲ報告ス

ヘシ

研究數年ニ涉ル場合ニ於テハ毎年十二月末日マテニ研究進行ノ狀況ヲ記載セル報告書ヲ部長ニ提出スヘシ  
 共同ノ研究ニ係ルトキハ主任者其手續ヲ爲スヘシ  
 五、補助ヲ受ケタル研究ノ成績報告書ニハ本院ヨリ研究費ノ補助ヲ受ケタル旨ヲ明記スルコトヲ要ス

第六 帝國學士院紀事出版ニ關スル

第二部決議

(明治四十年十二月十二日部會議決)

一、帝國學士院紀事(第二部)ハ集會ノ錄事及會員ノ提出セル論文、報告書

等ヲ登載ス

二、長編ノ論文、報告書等ハ別ニ「メモアル」トシテ隨時刊行シ其概要ヲ紀事ニ登載ス

三、會員ニ非サル者ノ論文、報告書等ト雖會員ヲ介シテ提出セルモノハ之ヲ紀事又ハ「メモアル」ニ掲クルコトアルヘシ

四、既ニ他ニ出版セル論文、報告書等ハ紀事又ハ「メモアル」ニ收載スルコトヲ許サス但其概要ヲ抄録スルハ此限ニアラス

五、出版委員二名ヲ置キ紀事及「メモアル」ノ出版ニ關スル事務ヲ委任ス  
 部長ハ出版委員長タルヘシ

六、出版委員ハ投票ヲ以テ在京ノ部會員中ヨリ選舉シ其任期ヲ二年トス

第七 職員

院 長	文學博士男爵 加藤 弘之
幹 事	文學博士 重野 安繹
第一部部长	法學博士 穂積 陳重
第二部部长	理學博士男爵 菊池 大麓

書記

續 有 節

囑託

佐原 茂 一  
 戶崎 孝  
 竹井 平四郎  
 遠藤 利貞

第八 會員

第一部	文學博士男爵 加藤 弘之
第一部	法學博士 杉 亨 二
第一部	男爵 細川 潤次郎
第一部	文學博士 重野 安繹
第一部	男爵 大鳥 圭介
第一部	文學博士 三島 毅
第二部	田 中 芳 男
第二部	醫學博士 三宅 秀
第二部	理學博士男爵 菊池 大麓
第一部	文學博士 木村 正 辭
第一部	文學博士 井上 哲次郎

第一部	第一部	第二部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部
文學博士		醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士
星野恒	本居豐	寺尾壽	小金井良精	坪井九馬三	小藤文次郎	宮崎道三郎	櫻井錠二	緒方正規	箕作佳吉	穗積陳重	大澤謙二						

第一部	第一部	第一部	第二部	第二部	第二部	第二部	第二部	第一部	第一部	第二部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部	第一部	第二部
文學博士	法學博士	文學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士	醫學博士
元良勇次郎	富井政章	中島力造	三浦守治	北里柴三郎	田中館愛橘	久原躬弦	古市公威	田尻稻次郎	南條文雄	長井長義	橋本綱常						

第一部	醫學博士	土方寧
第二部	醫學博士	青山胤通
第一部	法學博士	穗積八束
第一部	法學博士	梅謙次郎
第二部	理學博士	飯島魁
第二部	理學博士	藤澤利喜太郎
第二部	理學博士	坪井正五郎
第二部	醫學博士	三浦謹之助
第二部	理學博士	長岡半太郎
第一部	法學博士	岡野敬次郎
第二部	理學博士	大森房吉
第一部	文學博士	佐藤誠實

第一部	法學博士	一木喜徳郎
第一部	文學博士子爵	末松謙澄
第一部	法學博士	松崎藏之助



第九 客員

法學博士

ギユスターヴ、ボアソナード、ド、フホンタラビ

明治四十一年一月七日印刷  
同 年一月十日發行

帝國學士院

東京市上野公園内

印刷者

高島幸三郎

東京市京橋區高代町四番地

印刷所

高島活版所

東京市京橋區高代町四番地

